

地域をフィールドに それが僕の学び

京都を拠点に若者と地域をつなぐ事業を開拓する滋野正道さん。事業を引き継ぐ形で昨年4月、基地計画という会社の代表に就任した学生起業家だ。「肩書きを聞くとバリバリ稼いでそうと思われますが、利益は出てないです(笑)」。

滋野さんは大学時代に、公共政策学科で学ぶ。地域社会の問題を座学ではなく現場にててフィールドワークで分析・解決する学問だ。大学の恩師の「どんどん外に行け」という声もあり、大学1年生の時には天文サークル「星空研究会」を立ち上げた。

今の自分
悩んでもとにかく
動いていたから
見えてきた今がある。



Vol.02

学生起業家
滋野 正道さん
Shigeno Masamichi

1990年京都市左京区生まれ。佛教大学を卒業。
2012年龍谷大学大学院政策学研究科に進学。現在
休学中。2015年株式会社基地計画 代表取締役に
就任。「若者と地域をつむぐ」をテーマに「地域づくり」
と「人づくり」に取り組む。

自分に逃げていたけれど
動いてはいた

「就活はしましたけど、これという進路に確信はなかった」という滋野さん。大学4年に



なり周りが内定をもらっている頃、東日本大震災が起こる。「テレビを見たらなんか涙が出てくる。募金を募って釜石や大槌に災害支援へ回る日々。しかし、京都に戻つてみると桜が満開で観光客もいる日常。就職活動という現実に戻れぬまま、大学院への進学に気持ちを転換した。

大学院にはまちづくりをもっと深く学びたいと進学したが、勢いで外に出ていた大学時代の自分が、院では通用しなかった。学術視点で地域を理解する論拠を求められたからだ。

自分が何を学びたいのか、どういうことを形にしていきたいのか分からなくなつた」という滋野さん。「このままでは漠然と卒業しても何も得られない。自分探しをするためにも思い切って休学という選択をした」と話す。



だから語りあう

最近開催したのは「京都わかもん会議」。「ぞっくり言うと京都の未来を考える場です。みんな組織や所属を超えて京都について語る。そんな場がある」とある。「一人一人が気づいて明日のこともある」。

「僕はおじいちゃん子だったんです」。祖父の家のある京都の綾部は地域おこしが盛んな地域。「家もあるし何かでき

地域や人を応援したい
という自分に気づく

僕も悩みながら進んでいます



**滋野さんの
LIFE HISTORY & ONE DAY**
生き方ヒストリー アンド ある1日

- 0歳 3人兄弟の次男として育つ
- 13歳 ゲーム感覚でWebデザインを習得
- 17歳 兄の友人の紹介でHPやパンフレットを作成する
- 19歳 フィールドワークでまちづくりに参加
- 22歳 震災支援で就活から離脱
- 23歳 古民家再生活動をスタート
- 24歳 「高校生ミライ会議」や「京都わかもん会議」を開催
- 25歳 基地計画を事業継承
- 26歳 今春大学院に復学



天文サークル「星空研究会」を設立。同じ趣味を持った人が集まってるのがとにかく楽しかった。



祖父と父が教師だったのでいつかは教壇に立ち、中高校生たちにキャリア教育をしたい。



自分に逃げていたけれど
動いてはいた

「就活はしましたけど、これという進路に確信はなかった」という滋野さん。大学4年に



なり周りが内定をもらっている頃、東日本大震災が起こる。「テレビを見たらなんか涙が出てくる。募金を募って釜石や大槌に災害支援へ回る日々。しかし、京都に戻つてみると桜が満開で観光客もいる日常。就職活動という現実に戻れぬまま、大学院への進学に気持ちを転換した。

大学院にはまちづくりをもっと深く学びたいと進学したが、勢いで外に出ていた大学時代の自分が、院では通用しなかった。学術視点で地域を理解する論拠を求められたからだ。

自分が何を学びたいのか、どういうことを形にしていきたいのか分からなくなつた」という滋野さん。「このままでは漠然と卒業しても何も得られない。自分探しをするためにも思い切って休学という選択をした」と話す。

京都が好き

だから語りあう

最近開催したのは「京都わかもん会議」。「ぞっくり言うと京都の未来を考える場です。みんな組織や所属を超えて京都について語る。そんな場がある」とある。「一人一人が気づいて明日のこともある」。

「僕はおじいちゃん子だったんです」。祖父の家のある京都の綾部は地域おこしが盛んな地域。「家もあるし何かでき

地域や人を応援したい
という自分に気づく

僕も悩みながら進んでいます



**滋野さんの
LIFE HISTORY & ONE DAY**
生き方ヒストリー アンド ある1日

- 0歳 3人兄弟の次男として育つ
- 13歳 ゲーム感覚でWebデザインを習得
- 17歳 兄の友人の紹介でHPやパンフレットを作成する
- 19歳 フィールドワークでまちづくりに参加
- 22歳 震災支援で就活から離脱
- 23歳 古民家再生活動をスタート
- 24歳 「高校生ミライ会議」や「京都わかもん会議」を開催
- 25歳 基地計画を事業継承
- 26歳 今春大学院に復学



天文サークル「星空研究会」を設立。同じ趣味を持った人が集まってるのがとにかく楽しかった。



祖父と父が教師だったのでいつかは教壇に立ち、中高校生たちにキャリア教育をしたい。

行動を変える。そ
ういう気づきや發
見行動こそが長
い目で見た時に京
都の町を緩やかに
変えて行くのか
などと思う」。

「結婚は30歳にはしたいです。子ども
は僕が兄と姉の3人兄弟なので3人！
でも、まずは院を修了して一回就職する
か新しく起業するのか。雇われてもみた
いな笑」と将来を話す。

地域経済活性化にはその担い手となる人材育成がかかる。「今会社の基本計画はまちづくりを主軸にしつつ、個人としては、中高生のキャリア支援に取り組んでいきたい。父も祖父も教育者なのでぼくも『教育者』でありたいんと
思いを宣言する。

「僕はおじいちゃん子だったんです」。祖父の家のある京都の綾部は地域おこしが盛んな地域。「家もあるし何かでき

地域や人を応援したい
という自分に気づく

僕も悩みながら進んでいます



**滋野さんの
LIFE HISTORY & ONE DAY**
生き方ヒストリー アンド ある1日

- 0歳 3人兄弟の次男として育つ
- 13歳 ゲーム感覚でWebデザインを習得
- 17歳 兄の友人の紹介でHPやパンフレットを作成する
- 19歳 フィールドワークでまちづくりに参加
- 22歳 震災支援で就活から離脱
- 23歳 古民家再生活動をスタート
- 24歳 「高校生ミライ会議」や「京都わかもん会議」を開催
- 25歳 基地計画を事業継承
- 26歳 今春大学院に復学



天文サークル「星空研究会」を設立。同じ趣味を持った人が集まってるのがとにかく楽しかった。



祖父と父が教師だったのでいつかは教壇に立ち、中高校生たちにキャリア教育をしたい。

行動を変える。そ
ういう気づきや發
見行動こそが長
い目で見た時に京
都の町を緩やかに
変えて行くのか
などと思う」。

「結婚は30歳にはしたいです。子ども
は僕が兄と姉の3人兄弟なので3人！
でも、まずは院を修了して一回就職する
か新しく起業するのか。雇われてもみた
いな笑」と将来を話す。

地域経済活性化にはその担い手となる人材育成がかかる。「今会社の基本計画はまちづくりを主軸にしつつ、個人としては、中高生のキャリア支援に取り組んでいきたい。父も祖父も教育者なのでぼくも『教育者』でありたいんと
思いを宣言する。

「僕はおじいちゃん子だったんです」。祖父の家のある京都の綾部は地域おこしが盛んな地域。「家もあるし何かでき

地域や人を応援したい
という自分に気づく

僕も悩みながら進んでいます



**滋野さんの
LIFE HISTORY & ONE DAY**
生き方ヒストリー アンド ある1日

- 0歳 3人兄弟の次男として育つ
- 13歳 ゲーム感覚でWebデザインを習得
- 17歳 兄の友人の紹介でHPやパンフレットを作成する
- 19歳 フィールドワークでまちづくりに参加
- 22歳 震災支援で就活から離脱
- 23歳 古民家再生活動をスタート
- 24歳 「高校生ミライ会議」や「京都わかもん会議」を開催
- 25歳 基地計画を事業継承
- 26歳 今春大学院に復学



天文サークル「星空研究会」を設立。同じ趣味を持った人が集まってるのがとにかく楽しかった。



祖父と父が教師だったのでいつかは教壇に立ち、中高校生たちにキャリア教育をしたい。

行動を変える。そ
ういう気づきや發
見行動こそが長
い目で見た時に京
都の町を緩やかに
変えて行くのか
などと思う」。

「結婚は30歳にはしたいです。子ども
は僕が兄と姉の3人兄弟なので3人！
でも、まずは院を修了して一回就職する
か新しく起業するのか。雇われてもみた
いな笑」と将来を話す。

地域経済活性化にはその担い手となる人材育成がかかる。「今会社の基本計画はまちづくりを主軸にしつつ、個人としては、中高生のキャリア支援に取り組んでいきたい。父も祖父も教育者なのでぼくも『教育者』でありたいんと
思いを宣言する。

「僕はおじいちゃん子だったんです」。祖父の家のある京都の綾部は地域おこしが盛んな地域。「家もあるし何かでき

地域や人を応援したい
という自分に気づく

僕も悩みながら進んでいます



**滋野さんの
LIFE HISTORY & ONE DAY**
生き方ヒストリー アンド ある1日

- 0歳 3人兄弟の次男として育つ
- 13歳 ゲーム感覚でWebデザインを習得
- 17歳 兄の友人の紹介でHPやパンフレットを作成する
- 19歳 フィールドワークでまちづくりに参加
- 22歳 震災支援で就活から離脱
- 23歳 古民家再生活動をスタート
- 24歳 「高校生ミライ会議」や「京都わかもん会議」を開催
- 25歳 基地計画を事業継承
- 26歳 今春大学院に復学



天文サークル「星空研究会」を設立。同じ趣味を持った人が集まってるのがとにかく楽しかった。



祖父と父が教師だったのでいつかは教壇に立ち、中高校生たちにキャリア教育をしたい。

行動を変える。そ
ういう気づきや發
見行動こそが長
い目で見た時に京
都の町を緩やかに
変えて行くのか
などと思う」。

「結婚は30歳にはしたいです。子ども
は僕が兄と姉の3人兄弟なので3人！
でも、まずは院を修了して一回就職する
か新しく起業するのか。雇われてもみた
いな笑」と将来を話す。

地域経済活性化にはその担い手となる人材育成がかかる。「今会社の基本計画はまちづくりを主軸にしつつ、個人としては、中高生のキャリア支援に取り組んでいきたい。父も祖父も教育者なのでぼくも『教育者』でありたいんと
思いを宣言する。

「僕はおじいちゃん子だったんです」。祖父の家のある京都の綾部は地域おこしが盛んな地域。「家もあるし何かでき

地域や人を応援したい
という自分に気づく

僕も悩みながら進んでいます



**滋野さんの
LIFE HISTORY & ONE DAY**
生き方ヒストリー アンド ある1日

- 0歳 3人兄弟の次男として育つ
- 13歳 ゲーム感覚でWebデザインを習得
- 17歳 兄の友人の紹介でHPやパンフレットを作成する
- 19歳 フィールドワークでまちづくりに参加
- 22歳 震災支援で就活から離脱
- 23歳 古民家再生活動をスタート
- 24歳 「高校生ミライ会議」や「京都わかもん会議」を開催
- 25歳 基地計画を事業継承
- 26歳 今春大学院に復学



天文サークル「星空研究会」を設立。同じ趣味を持った人が集まってるのがとにかく楽しかった。



祖父と父が教師だったのでいつかは教壇に立ち、中高校生たちにキャリア教育をしたい。

行動を変える。そ
ういう気づきや發
見行動こそが長<br